

日本下水道事業団の研修の開催についてご案内いたします。【平成 26, 27, 28 年度研修受講生対象】

1. 平成 29 年度下水道研修追加募集について

(1 月以降開講分)

1 月以降に開催する「戸田研修」の専攻について、下記の通り追加募集を行っております。申し込みに際しましては、応募状況に伴う受講の可否についてお問い合わせください。なお、研修受講料の他に別途宿泊費として 1 泊当たり 4,400 円（消費税込、3 食込）が必要になります。

詳細については、下記をご参照ください。

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29dai4ki.pdf>

研修の内容その他については、下記の「下水道研修参加募集案内平成 29 年度」をご参照ください。

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29boshuannai.pdf>

2. 開講講座の紹介

-
- ① 計画設計コース『下水道事業の広域化』 2 日間
平成 30 年 2 月 1 日（木）～ 2 月 2 日（金）

中小規模の地方自治体では、職員数が減少する中、少数の下水道担当職員のみで事業を行うには限界があり、スケールメリットの観点からも周辺市町村等との広域的な連携により複数の事業主体で最低限の事業運営体制を確保することを検討する必要があります。本研修では、広域化・共同化の現状と課題について理解していただくとともに、下水道施設と農業集落排水施設等との維持管理の共同化、広域的な連携を目指した協議会制度の活用等の事例について解説いたします。

詳細については下記をご参照ください

<https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/kouikika.pdf>

-
- ② 経営コース『接続・水洗化促進と情報公開』

平成 30 年 2 月 5 日（月）～ 2 月 9 日（金）

5 日間

接続率の向上を図るためには、下水道に対する PR、資金融通制度の設置など市民の方が下水道の必要性を理解し、下水道を使いやすくするための様々な方策を地道に取り組むことが必要です。

しかし、これと同時に重要なことは、高い接続率が達成できるよう事業計画の段階から適切な排水区域を検討することや、受益者負担金・下水道使用料など接続後の経費負担についての情報なども総合的に伝えるなど、下水道事業全体の流れを見据えた適切な方策を実施することです。

本専攻では、下水道事業に精通した講師が見落としがちなポイント、接続率の向上に関する多様なノウハウを網羅した体系的な講義によって、市町村の皆様が円滑かつ効果的な下水道事業の進捗を図、接続率の向上や料金の適正な徴収等の実現を達成できるようお手伝いをします。

詳細については下記をご参照ください

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/setuzokusuisen.pdf

③ 実施設計コース『管きょ設計Ⅰ』 12日間
第4回 平成30年 1月22日(月)～ 2月2日(金)

本専攻は、下水道管きょの基礎知識を学び、開削工法による管きょの設計積算が出来ることを目標としています。対象は、下水道の実務経験が浅い自治体職員で、開削工法による管きょの設計積算技術の習得を希望する職員向けの研修となっています。

研修期間は、約2週間です。カリキュラムは、下水道全般についての基本的な解説、管きょ施設の構造、基礎工の選定と演習、開削工法における土留め工法の解説、現場踏査と設計図面の作成演習などから構成されています。講師は、地方公共団体、各種団体のベテラン職員が担当し、実習は、少人数によるグループ編成で複数の講師陣によるきめの細かい指導が受けられます。

研修日程は長期となりますが、この研修成果を仕事の教科書として活用すると共に、研修生が地域で活躍する際の一助となることを望んでいます。

詳細については下記をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/kankyo1.pdf

④ 維持管理コース『管きょの点検・調査』 5日間
平成30年 1月29日(月)～ 2月2日(金)

全国の下水管きょは、46万キロメートルが整備され、布設後50年を経過するものは1万キロメートルとなり今後も老朽化する管きょの増加が予測されています。安心して下水道を使い続けるためには、管の閉塞や破損による浸水や道路陥没等の重大事故が発生しないよう「点検・調査」を怠ることなく、「修繕・改築」によって管きょを健全な状態に保つことがなお一層重要になっています。

『管きょの点検・調査』は、管きょの点検・調査の計画から手法まで広く技術を習得できる内容とし、実務を模擬的に体験することによって現場でどのような機器が使われ、どのような方法により、どのような作業を行うか実感できます。さらに、健全性を保つために必要となる「修繕・改築工法」の知識や「保全実務」上の課題、「不明水」の原因と対策など公共団体が抱える課題が共有でき、知りたいことが満載された短期集中型の費用的、期間的にも、小さい負担で最大の満足が追及できる専攻となっています。即戦力となる技術者の育成にもお役立ただけいたら幸いです。

詳細については下記をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/kankyotenken.pdf

⑤ 維持管理コース『電気設備の保守管理』

5日間

平成30年 2月14日(水)～ 2月16日(金)

本専攻は、処理場運転管理に携わる電気職の方を主な受講対象者とし、処理場電気設備の保守管理全般について広く学習するものです。

他の研修センター研修同様、講義と実習で構成し、講義では管理の概要、管理に欠かせない計装設備の保守管理、さらには、保守点検委託についても解説いたします。

実習では、保護継電器に関する実習を行い、予期せぬ電気事故等から設備を保護する手法を学習いたします。

受講に際しては、電気職の方を主な対象としているため、最低限の電気に関する知識が必要ですが、電気職以外の方の積極的な参加もお待ちしております。

詳細については下記をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/denkisetsubi.pdf

⑥ 維持管理コース『水質管理Ⅲ』

5日間

平成30年2月5日(月)～2月9日(金)

本研修では、下水処理施設における効率的な維持管理、運転管理の基準となる平常時の水処理の他、高負荷の流入水による処理の不全、毒物による活性汚泥の死滅の3パターンについて回分実験を行うとともに、そこから得られる水質分析値から正常と異常の判断方法を学習いたします。

また、汚泥処理のメインプロセスともいえる脱水について実習し、処理場全体の固形物収支を作成し、作成した収支図をどのように評価するか学習いたします。

詳細については下記をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/suishitu3henko.pdf

その他、実施コースの詳細については、下記の「平成29年度下水道研修参加募集案内」をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29boshuannai.pdf

その他、実施コースの詳細については、下記の「平成29年度下水道研修参加募集案内」をご参照ください。

https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29boshuannai.pdf
